

意見交換会で出された意見

■リニア中央新幹線

| 地域 | 意見 |
|-----|--|
| 諏訪 | ・リニアは高速道路経由で使うので、駅の近くにスマートICを設置し、駐車場が整備できれば甲府まで30分なので、使いやすい。飯田も同様である。使い勝手がよいものとしてほしい |
| | ・モータリゼーションの進展で甲府に駐車場を多く作ってほしい。大阪から海外に行くこともあるのでアクセスは大事 |
| 上伊那 | ・リニア駅とのアクセス道路の整備が重要 |
| | ・関係機関との連携を図り、具体的な取組を早く進めることが重要 |
| | ・リニア駅が長野県の受け皿としてイメージダウンとならないよう、地域の活力を担う環境整備が必要 |
| | ・リニアの駅と公共交通や幹線道路との連携、松本空港へのアクセスなど、交通の連携が必要 |
| | ・リニア中央新幹線が間引き運転にならないようにすることが大事。松本も巻き込まないと、利用者が少なく、止まらなくなってしまう |
| | ・観光客がリニアで下伊那にきて、松本、県全体に移動することが必要。地域の役割分担の明確化が必要 |
| 下伊那 | ・下伊那地域にとっては、リニア中央新幹線は夢のようなことであり、県全体にプラスとなるようにしたい |
| | ・地域のエゴを出すのではなく、上伊那や松本までの交通アクセスの強化が必要。点のつながりを面のつながりにすることが必要 |
| | ・リニア駅とのアクセスを良くしてほしい。下伊那地方事務所飯伊連絡協議会等を活用して、県で計画を作してほしい |
| | ・住民はリニアへの期待と不安を持っている。情報も少なく、内容も専門的で分かりにくい。わかりやすく開示してほしい |
| | ・トンネル工事は住民にとって不安である。2年後にいきなりルートを示されても困る |
| | ・アクセス利便性の改善には、地域内の移動の利便性向上が必要 |
| | ・JR飯田線駅への近接や併設の検討が必要 |
| | ・リニアへの期待が大きいですが、アクセス強化のために過大な投資はどうかとも思う |
| | ・飯田駅までのアクセス道路の整備により、下伊那地域全体が公平にリニアの恩恵に被られるようにしてほしい |
| | ・三遠南信道路とリニアとの連絡が必要 |
| 木曾 | ・リニアの駅としては、中津川にできる駅の利用を希望 |
| | ・リニアの駅が美濃坂本にできて人が入ってくるが、(人の流れが)どん詰まりではダメなので、ネットワークを作ることが必要 |

■北陸新幹線

| 地域 | 意見 |
|----|--|
| 大北 | <ul style="list-style-type: none"> ・大北地域は、北陸新幹線延伸における関西方面からの玄関口となりうる |
| 長野 | <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線で来た人を途中でどう降ろすか。バス以外は考えられないので充実してほしい |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・長野新幹線、高速道路が集中している地域であり、千曲新駅は、北陸圏から全県に誘客を図るための駅でもある。県が事業主体として取り組む必要がある |
| 北信 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光がメインの地域でいかに北陸新幹線を活用して、観光振興を中心に地域の発展を図るのが課題 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・各観光地と新幹線を結ぶことが必要 |

■在来線

| 地域 | 意見 |
|-----|--|
| 諏訪 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央東線は相対的に遅い。移動時間が許容範囲の2時間に入るようにしてほしい ・飯田線は通勤通学の利用者が多く、町の活性化に繋がる。飯田線の活性化がないと日常の足の確保にならない ・中央東線の高速化については、都内の複々線化、山梨県のトンネル、諏訪ー岡谷の複線化が課題 |
| 上伊那 | <ul style="list-style-type: none"> ・あずさの乗り入れなど、JR飯田線のグレードアップが必要 ・ワイドビュー伊那路は上伊那では使えない。辰野から岡谷駅までの延伸してほしい ・辰野ー諏訪間、辰野ー塩尻間のスピードアップや、JR中央線の間引き運転を避けて欲しい ・上伊那地域は東京経済圏にあり、中央東線の高速化とJR飯田線への乗り入れが必要 ・県庁に向けて直通電車はあるが、時間がかかる、時間短縮が必要 ・JR飯田線と道路整備により上伊那と下伊那の交流促進、商圈拡大を図ることが必要 |
| 下伊那 | <ul style="list-style-type: none"> ・JR飯田線は地域の貴重な資源であり、維持する取組が必要 |
| 木曾 | <ul style="list-style-type: none"> ・JRは貴重な交通手段。災害時に道路がダメでも鉄道が動けば人は助かる。JRの本数増などがあれば、木曾は発展する ・中央西線の単線区間の複線化をお願いしたい。それがリニアの地域振興に繋がる ・今後も複線化は求めるが、難しい状況は分かるので、まず、ダイヤ改正で、木曾の地域の足を確保してほしい |
| 松本 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が車に頼らず社会参加できるよう、JR中央東線の複線化や利便性の向上をビジョンに記載してほしい ・鉄道も新幹線のようなビジネスラインと観光ラインに分け、高速交通だけでなく、車窓を楽しみながらの移動も考えてほしい |
| 大北 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時には鉄道が大事。鉄路は切ったら終わりという認識を持って取り組んでいる ・越境進学の実態を踏まえ、使いやすい鉄道のダイヤ編成をしてほしい |
| 長野 | <ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道により並行在来線が運行されるが、安定的な経営のための支援をお願いしたい。町も利用促進を図りたい |

■地域公共交通

| 地域 | 意見 |
|-----|--|
| 諏訪 | <p>・コンパクトシティもいいが、その中心にどう通うのかという問題が出てくる。それには、地域公共交通を活性化することが必要</p> |
| | <p>・公共交通をやっていくには、自治体の金を入れる必要があるが、厳しいので、国、県がそういう視点で考えないと過疎が進み、地方は増々疲弊する。都市だけ発展するのではない交通体系を考えてほしい</p> |
| | <p>・コミュニティバスやデマンドの実証運行をやっていて、利用者の声を聞いているが、PR不足を感じている。どう知ってもらうかが課題</p> |
| | <p>・親の送迎のコストが馬鹿にならない。その間何もできない。地域の人が必要だと考えないといけない</p> |
| | <p>・地域住民の互助的なシステムができればどうか。それに対する規制緩和や補助制度あればよい。若い高齢者が送迎し、それに対する補助制度があればよい</p> |
| 上伊那 | <p>・地域内の交通体系も重要であり、少子高齢化、人口減少に耐えうる交通ビジョンを策定してほしい</p> |
| | <p>・この地域の公共交通は、バス、飯田線のほか、車も公共交通となっているのが実態。連携が必要</p> |
| 下伊那 | <p>・アクセス利便性の改善には、地域内の移動の利便性向上が必要</p> |
| 木曾 | <p>・幹線路線を整備し、そこに繋がる巡回バスを走らせ、カバーできないところはデマンドを走らせ、「命の交通網」と名付けてどこに住んでいても医者に行けるシステムを作ったが、大変な経費がかかる</p> |
| | <p>・特別交付税が削られると維持できなくなり、(町場から)遠くには住めなくなり、近くに住むことにより、益々、過疎化が進む。公共交通の維持は、過疎対策になる</p> |
| | <p>・一人暮らしや老々家庭など車を運転できない家庭がどんどん増えている。こうした人たちが安心して暮らせることが大事。(公共交通の維持は)やむにやまれずやっている</p> |
| 松本 | <p>・各地域でデマンド交通など公共交通に対して積極的に取り組んでいるが、国の支援は年々減っている。一自治体の問題でなく県、国の問題でもある</p> |
| | <p>・車に依存した生活を見直す必要があり、各種取組を行っているが、大きな行政コストや課題もある。ビジョンでは将来を見据える形も位置付けてほしい</p> |
| | <p>・人や自転車など公共交通を優先する総合的なまちづくりが必要</p> |
| | <p>・バスについては、タクシーとの絡みを考えなければいけない。バスは認可路線しか対応できないので、柔軟な対応が必要</p> |
| | <p>・バスの運行について、事業者の肩代わりをしているが、いつまで持つかという状況。人口が減れば一人の責任が増える。そんな時代のビジョンとしてほしい</p> <p>・小さい村でバスなどの交通を検討すると、利用者が少ないので隣接の大きな市の世話にならなければいけない。国、県の支援が必要</p> |

| | |
|----|--|
| 大北 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治体ごとに運行計画によりバス路線等が設定されているが、乗り継ぎ時間のずれなど自治体間の調整や広域的なバス運行の検討も必要 ・高速交通だけでなく、地域のコミュニティバスへの県の支援が必要 |
| 長野 | <ul style="list-style-type: none"> ・パスモやスイカを全国でやってほしい。どんな効果がでるか試してみたい。 ・住民も高齢化で自動車が運転できなくなる。行政で、駐車場を整備しているが、駐車場を増やすと車も増える。2次交通をしっかりとやる必要がある。環境問題も改善することになる。 ・2次交通は重要な観点。屋代線の代替バスを3市で運行しているが、市だけでなく、広域の交通を考える必要がある。 |
| 北信 | <ul style="list-style-type: none"> ・長野電鉄は、重要な公共交通で、二酸化炭素削減の効果もあり、積極的な行政の関与が必要。 ・バスは公共交通対策協議会を設置して取り組んでいる。行政、企業、住民が協力して取り組むことが課題 ・18歳未満の子どもの医療費を無料にし、交通費を支援できない分を補っている ・ハード整備はあるが、その上を走る運行の仕組みが問題。県で観光の活性化や高齢化への支援をお願いしたい |

■道路

| 地域 | 意見 |
|-----|---|
| 諏訪 | <ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅の近くにスマートICを設置し、駐車場を整備することが必要 ・安全な町には道路が必要。災害時に孤立することがあるので、災害に強い道路整備が大事。そういった視点で寸断されないよう安全な道づくりということも入れてほしい |
| 上伊那 | <ul style="list-style-type: none"> ・この地域は、木曾に次いで医師数が少ない。道路がしっかりしないと医療、産業、経済も止まってしまうと感じる ・緊急時の交通を担う道路は、国・県など、道路の役割に応じた整備主体とすべき ・JR飯田線と道路整備により上伊那と下伊那の交流促進、商圈拡大を図ることが必要 ・伊南バイパスの南方向への整備、広域農道の座光寺SAへの接続などが必要 ・国道152号線の整備で新たな観光につながるものと期待 ・国道153号線は飯田までは国が整備し、その先は県が整備している。市町村道もあるが、誰がどんな役割を担うのか議論してほしい ・伊駒アルプスロードは国の直轄での整備をしてほしい ・赤石トンネルの管理道路を緊急物資輸送のための道路として活用できないか |
| 下伊那 | <ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信道路とリニアとの連絡が必要 |
| 木曾 | <ul style="list-style-type: none"> ・恵那山トンネルは危険物を搭載した車両規制を行っているため、危険車両は国道19号を使わざるを得ない。基準の見直しが必要 ・年々事故が多発しており、救急車も消防車も通らない状況であることから、木曾に立ち寄る用事がなければ、(国道19号に)入れないような仕組みをお願いしたい。 ・国道19号線は、事故があればストップし、経済の動脈が止まり、他への影響が大きい。権兵衛峠ができて交通事情が変わったが、町の南部は、一本しか道路がないので、右岸道路の整備をお願いしたい。 |
| 松本 | <ul style="list-style-type: none"> ・中信地域と東信、北信を結ぶ幹線道路の整備が必要。東信の新幹線の上田駅等への道路を整備すると観光などの産業振興に寄与できる ・国道19号線は、全線が追い越し禁止区域となっている。歩道もない地域もあり、危険であるので生活面の安全対策も必要 ・中山間地域の人が減ると山が荒れる。一自治体の道路の問題はない。どうすべきか考え、ビジョンを策定してほしい ・中部縦貫自動車道で関西方面との人的交流ができる |
| 大北 | <ul style="list-style-type: none"> ・台湾等からの観光客は富山空港から入って長野県に来るが、国道148号線の未整備区間である。高規格道路は観光振興の観点からも重要、県全体の施策で展開してほしい ・救急医療は移動時間が長くなるほど厳しい、交通網は命に関係している。また、観光客の減少も厳しい。松本糸魚川連絡道路を整備してほしい ・大北地域には高速道路がない、これまでの長野県の高速度網の整備を反省してもらいたい。高速道路をこちらに回せば、松本糸魚川連絡道路は必要なかった ・長野新幹線からの2次交通としての特急バスの路線維持・利用促進 |

| | |
|----|---|
| 長野 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少で、自動車どれだけ増えるか。それを見据えた道路整備や人づくりのための道づくりが必要 ・環境に優しい交通を考えて欲しい。地域で安心・安全に暮らすために生活道路の推進が必要。生活を変えるための交通が長野県のために必要 |
| 北信 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通としては、国道117号が重要で、一方は、越後湯沢に、もう一方は長野へと抜ける。災害があった時どちらかに逃げられるように考えている ・村営バスをデマンドに変えて地元のタクシー会社に委託したところ、経費の圧縮はできたが、予約制は高齢者には、評判がよくない ・中山間地域での運行コストがかかるが、高齢者、障害者、児童、生徒の足の確保が必要 |

■空港

| 地域 | 意見 |
|----|---|
| 木曾 | <ul style="list-style-type: none"> ・木曾は名古屋に近いということあり、中部国際空港(セントレア)へ行ってしまいうということが一般的である ・セントレアは飛行機の便数が多いので、信州まつもと空港よりセントレアに行く傾向になる |
| 松本 | <ul style="list-style-type: none"> ・県営空港であることから、県の主体的かつ積極的な対応をビジョンに位置付けることが重要 ・更に利用価値の高い空港とするため、空港設備の整備とともにFDAとの連携を図りながら、利用促進に取り組んでほしい ・信州まつもと空港が「海外への門戸」であることを再認識し、国際化に向けた交流拠点として最大限活用してほしい ・空港からの2次交通アクセスについて、県を主体に早急に取り組むことが必要 |
| 大北 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光立県として松本空港が国際空港ような形になるよう取り組んでほしい ・松本空港は海外便はチャーター便しかない。定期便がほしい。 |

■その他

| 地域 | 意見 |
|-----|---|
| 諏訪 | <ul style="list-style-type: none"> ・15年後のビジョンだが、道路網、鉄道網の整備は必要。そこにどういふ公共交通を走らせるかが難しい ・高速道路とリニアを使えば1時間になり、通勤圏内で拡大首都圏のベッドタウンとなる。移動時間が短縮すれば、地域の発展につながる ・住民に集落を捨てさせてもよいのか。行政は、人が住むこと、そこに住みたい人を守るのも仕事 |
| 上伊那 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活、経済が広域化し、市町村だけでは対応できない。この地域は中京圏、関東圏との交流が必要 ・県内全体の均衡ある交通体系を検討し、将来に向けて地域間格差の埋め合わせができるよう考えてほしい ・上伊那地域は東京圏志向、下伊那地域は中京圏志向であることも考慮 ・国内外からの来訪者を増加させるため、空・道路・鉄道の連携など、広域的な視野で考えることが必要 ・少子高齢化に耐えうるビジョンを作ってほしい ・交流人口の増加や観光・産業の振興には、地域内の基盤整備が必要 |
| 下伊那 | <ul style="list-style-type: none"> ・都会と同じ発展はありえず、地域にあった開発が必要 ・地域の魅力を出していくこと、地域に人を入れることが重要 ・地域の農業などが織り成す日本の原風景といえる魅力を都市部に発信することが必要 ・リニアや三遠南信自動車道は人や物を運ぶ、自然、農作物など、この地域のものをうまく活かして活性化につなげたい ・東京との時間短縮が魅力。ビジョンには拠点との時間短縮を目標として入れてほしい ・ビジョンでは将来に向けてどうすべきか、大所高所からの提案が必要 ・ビジョンでは、情報を分かり易く示し、住民の理解を得る努力が必要 |
| 木曾 | <ul style="list-style-type: none"> ・木曾で心配なのは、人口が減っていくこと。高齢化が進んでおり、一人暮らしや老々世帯も増える。住民の足をどう確保するか、今住んでいる人たちの足をどう確保するかをビジョンで議論して欲しい ・中山間地域には、豊かな自然があるが、一人暮らしや老々家庭など運転できない家庭が増えている。公共交通の維持や道路整備が重要であることを認識してビジョンを策定してほしい |
| 松本 | <ul style="list-style-type: none"> ・マクロでは、地域交通と都市との交流を分けて考えなければいけない ・山岳観光地なので電気自動車の導入に取り組んでいる。この地域はエコを取り入れていくことが大事 |

| | |
|----|--|
| 大北 | ・大北地域に高速幹線がなく、大局的に立った路線がない。国、県で対応してほしい |
| | ・この地域は高速交通網からもれている地域であり、通常の交通だけでなく、高速交通網も組み込んでもらいたい |
| | ・外国人観光客の中には、成田からこの地域に直行便ができないかという声もある。県の観光の取組が今後に結びつくことを期待 |
| | ・大都市圏からは、高速バスで来た人を希望する場所に運ぶ2次交通の整備が課題 |
| 長野 | ・これまでのビジョンは大動脈を示したが、これからは、末端の農村が日本を変えるものと、とらえて欲しい |
| 北信 | ・観光用に町内の温泉地を回るようにして、女将バスなどを走らせているなどの取組をしている |